

第 94 春季年会「優秀講演賞（産業）」表彰

産学交流委員会

日本化学会産学交流委員会では、平成 8 年度開催の第 72 春季年会から若い世代の講演発表者の研究活動の奨励を目的に「講演奨励賞」を、平成 20 年度からは「優秀講演賞（産業）」と改称し、顕彰してきました。平成 24 年度からは、対象分野をアドバンスト・テクノロジー・プログラム（ATP）で実施される ATP ポスターに限定して、審査・選考、表彰を行うことといたしました。

この「優秀講演賞（産業）」は、「産業に対する寄与が期待される基礎的または応用的な概念、アイデア、実験手法、実験結果などについての発表であり、発表者の研究に対する主体性や貢献度が優れ、且つ今後の研究活動の一層の発展の可能性を有すると期待されるもの。」に対して会長名で表彰するものです。

第 94 春季年会は 3 月 27 日(木)～30 日(日)までの 4 日間、名古屋大学東山キャンパスで開催され、審査希望のあった若手研究者（40 歳以下の正会員および学生会員）の講演を対象に産業界の審査員が審査致しました。産学交流委員会による選考委員会で慎重に選考の結果、今年度の受賞者として、申請のあった 55 件の中から下記の 3 名が選出されました。選考委員会で高い評価を得て表彰に値すると認定されたこれらの受賞者には、その栄誉をたたえ、さらに一層の研鑽を積まれますことを期待致しまして、受賞者の所属機関長を経由して表彰状をお届けいたしました。

優秀講演賞（産業） 受賞者一覧

[エネルギー]

- ・ 野々口 斐之 氏（奈良先端大物質・助教）
1PC-226 「単層カーボンナノチューブを搭載したしなやかな熱電発電シート」

[医療・ヘルスケア]

- ・ 坂本 聡 氏（東工大院生命理工・助教）
1PB-227 「機能化された分散性微粒子を利用する生体分子測定技術の開発」

[医療・ヘルスケア]

- ・ 鎌田 宏幸 氏（東大院工・D1）
1PB-231 「機械的ヒステリシスを示さない“非膨潤”ハイドロゲル」